

## ふじさわSDGs共創パートナー取組実績報告書

2024年度の取組実績を次のとおり報告します。

報告日

2025年6月28日

企業・団体名

特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット

No	具体的な取組内容	2025年度の取組予定
1	人生100年時代を迎え、シニアが仲間と交流して「働き」、「学び」、また趣味や同好会で「楽しみ」、「生きがい」を感じるアクティブシニアの地域社会における「居場所」として社会活動の場を提供して22年になります。10の事業と10の同好会を通じて、地域社会の発展維持に貢献しております。会員も堅調に増え110名程になり、ピークの115名に迫っております。	今年度も活動の幅も増やし、益々多くのシニアの方に入会いただき、「生きがい」を感じるアクティブシニアの「居場所」となり、ひいては地域社会の発展維持に貢献できればと思っております。
2	地球温暖化対策のポータルサイトの運営は茅ヶ崎市との協働で、地球温暖化対策ポータルサイト「ちがさきエコネット」を運営している。茅ヶ崎市環境フェアに出展し広く活動の紹介ができた。当団体の「ボランティアグループ」は、奥田公園から江の島まで片瀬川沿いのごみ拾いウォーキング（プロッキング）を3年前の2022年6月から始め以後毎月実施。また毎年5月末に行われる藤沢市「ゴミゼロクリーンキャンペーン」にも2012年から毎年参加しております。またSDGs推進チームを発足し、会員への啓蒙と具体的なSDGsの取組を促進すべく活動を始めました。	地球温暖化対策のポータルサイトの運営に当たっては、その重要性を市民や市民の方々にもっと認識いただける様工夫を凝らしていきたい。またゴミ拾い活動の継続ともっと幅広い活動ができる様検討を続けたい。
3	今年度で3回目となった当団体の「ウクライナ支援ひまわりプロジェクト」は、藤沢市の後援を戴き2月23日（日）の辻堂駅北口通路と24日（月・祝）の藤沢駅北口の二つの会場で例年通り実施した。タネの配布は両会場とも順調で、辻堂は500袋、藤沢は1,000袋をそれぞれ15時までには配布完了しました。寄付活動では、辻堂で28,000円、藤沢では57,000円、合計85,000円の寄付を集めることができました。昨年の60%増でした。寄付金は昨年に引き続き「日本ウクライナ友好協会」へ寄付しました。	現在米国の仲介で和平に向け交渉がなされていますが、先行き不透明であります。例え和平が成立してもロシア侵略前への原状回復には相当の費用と年月が必要と考えられ、引き続きこの問題が風化しない様、また僅かではありますが人道支援を続けられる様していきたい。